

## 付録 2

## 回答者の属性について

### 1. 学校の属性

【設問6 - 1】 学校区分をお答えください。(1つだけ選ぶ)

調査対象となった小学校及び中学校の校数は、「小学校」が 340 校、「中学校」が 174 校となっている (N=514)。

【設問6 - 2】 所在地をお答えください。(1つだけ選ぶ)

調査対象となった小学校及び中学校の所在地については、以下の通りである (小学校: N=340, 中学校: N=173)。

小学校については、「市」が7割強(73.5%)と最も多く、続いて「町」が2割弱(19.4%)、「村」が1割未満(7.1%)となっている。

中学校についても、小学校とほぼ同じで、「市」が7割半ば(74.0%)と最も多く、続いて「町」が2割弱(19.7%)、「村」が1割未満(6.4%)となっている。

【設問6 - 3】 所在地を管轄する教育事務所をお答えください。(1つだけ選ぶ)

調査対象となった小学校及び中学校の所在地を管轄する教育事務所の割合は、以下の通りである (小学校: N=340, 中学校: N=173)。

小学校については、「西部教育事務所」が3割強(31.5%)と最も多く、続いて「中部教育事務所」が3割弱(29.1%)、「東部教育事務所」が2割半ば(24.1%)となっている。「利根教育事務所」(8.8%)と「吾妻教育事務所」(6.5%)はともに1割未満となっている。

中学校については、「西部教育事務所」(28.3%)、「中部教育事務所」(27.2%)、「東部教育事務所」(27.2%)の3つがともに3割弱となっている。「利根教育事務所」(9.2%)と「吾妻教育事務所」(8.1%)はともに1割未満となっている。

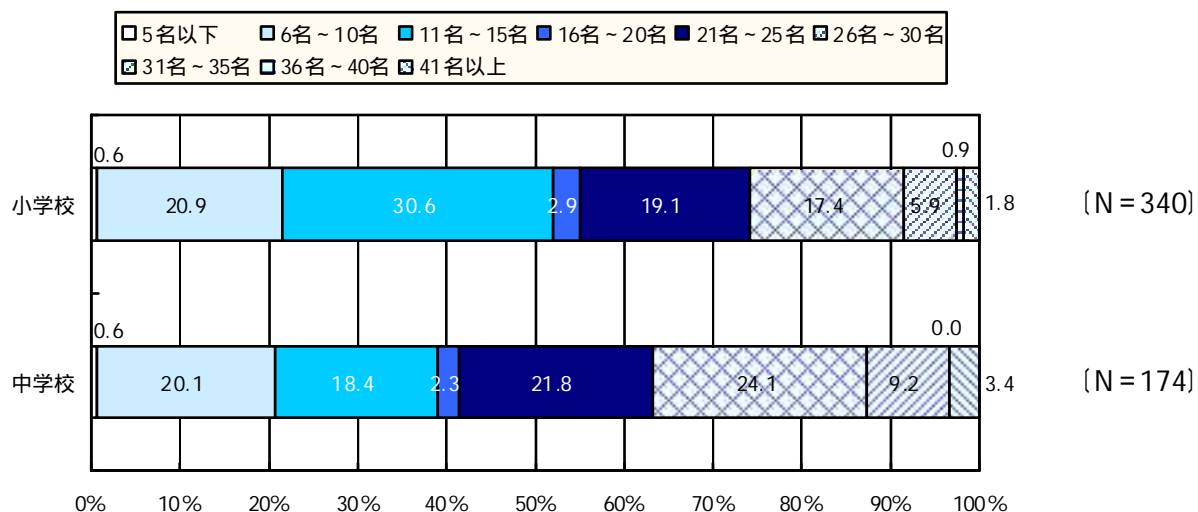
【設問6 - 4】 常勤(県費負担)の教職員数をお答えください。(1つだけ選ぶ)

図表 1-1 は、小学校及び中学校の常勤の教職員数の割合を示している。

小学校については、「11 名～15 名」(30.6%)が 3 割と最も多く、続いて「6 名～10 名」(20.9%)が 2 割、「21 名～25 名」(19.1%)が 2 割弱となっている。

中学校については、「26 名～30 名」(24.1%)が 2 割半ばと最も多く、続いて「21 名～25 名」(21.8%)が 2 割強、「6 名～10 名」(20.1%)が 2 割、「11 名～15 名」(18.4%)が 2 割弱となっている。

図表 1-1. 教職員数(常勤)



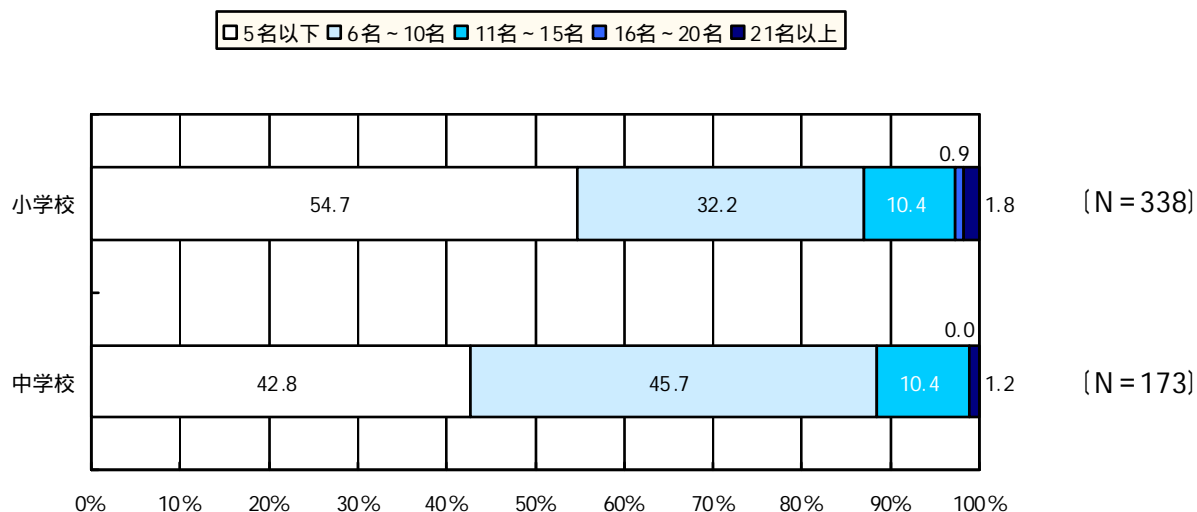
【設問6 - 5】 設問6 - 4以外の教職員数をお答えください。(1つだけ選ぶ)

図表 1-2 は、小学校及び中学校の常勤以外の教職員数の割合を示している。

小学校については、「5 名以下」(54.7%) が 5 割半ばと最も多く、続いて「6 名～10 名」(32.2%) が 3 割強となっている。11 名以上(「11 名～15 名」「16 名～20 名」「21 名以上」の合算)は 1 割強(13.1%)となっている。

中学校については、「6 名～10 名」(45.7%) が 4 割半ばと最も多く、続いて「5 名以下」(42.8%) が 4 割強となっている。11 名以上(「11 名～15 名」「16 名～20 名」「21 名以上」の合算)は 1 割強(11.6%)となっている。

図表 1-2. 教職員数(常勤以外)



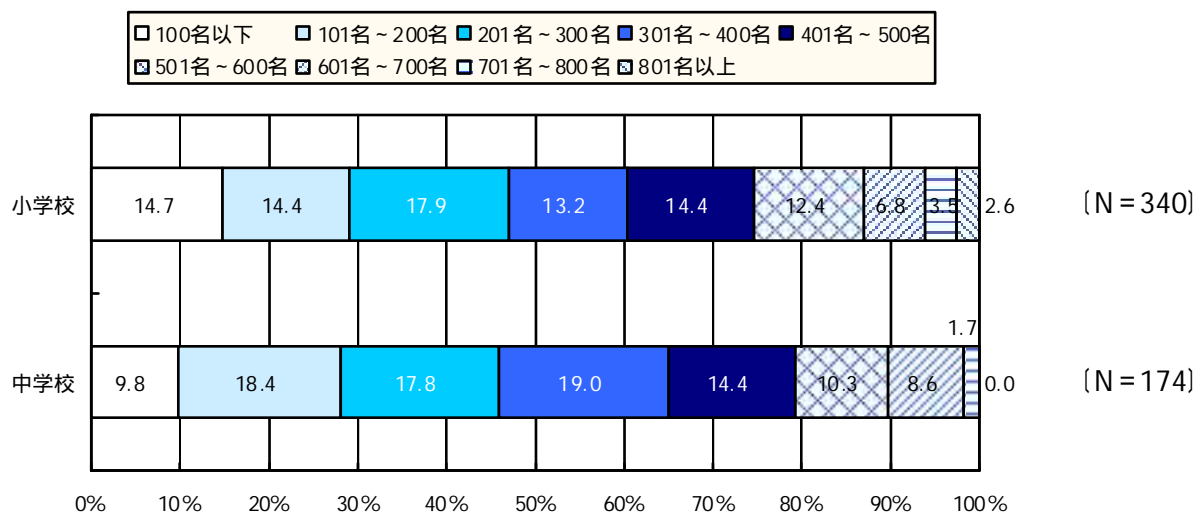
【設問6 - 6】 児童・生徒数をお答えください。(1つだけ選ぶ)

図表 1-3 は、小学校及び中学校の児童・生徒数の割合を示している。

小学校については、「201 名～300 名」(17.9%) が 2 割弱と最も多く、続いて「100 名以下」(14.7%)、「101 名～200 名」(14.4%)、「401 名～500 名」(14.4%) が 1 割半ばで並んでいる。

中学校については、「301 名～400 名」(19.0%)、「101 名～200 名」(18.4%)、「201 名～300 名」(17.8%) が、ともに 2 割弱で並び、続いて「401 名～500 名」(14.4%) が 1 割半ばとなっている。

図表 1-3. 児童・生徒数



【設問6 - 6】 児童・生徒数をお答えください。(1つだけ選ぶ)

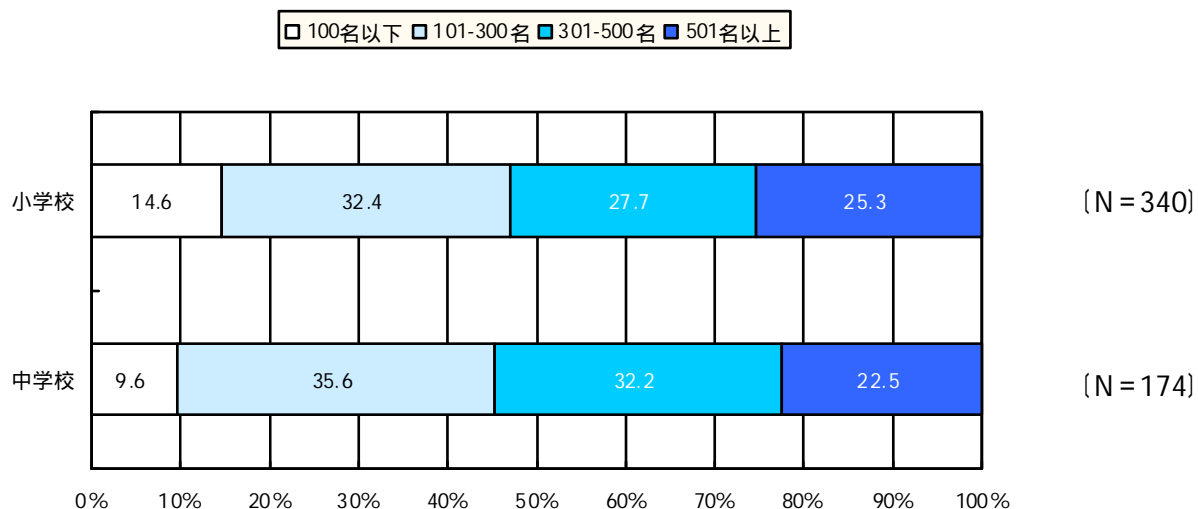
図表 1-4 は、学校規模の割合を示している。学校規模は、児童・生徒数から算出している。

小学校については、「101名～300名」(32.4%)が3割強と最も多く、続いて「301～500名」(27.7%)が3割弱、「501名以上」(25.3%)が2割半ばとなっている。「100名以下」(14.6%)は1割半ばとなっている。

中学校については、「101名～300名」(35.6%)が3割半ばと最も多く、続いて「301～500名」(32.2%)が3割強、「501名以上」(22.5%)が2割強となっている。「100名以下」(9.6%)は1割弱となっている。

なお、第2章「調査結果」の学校規模別は、この分類を利用している。

図表 1-4. 学校規模(児童・生徒数)



## 2. 校長の属性

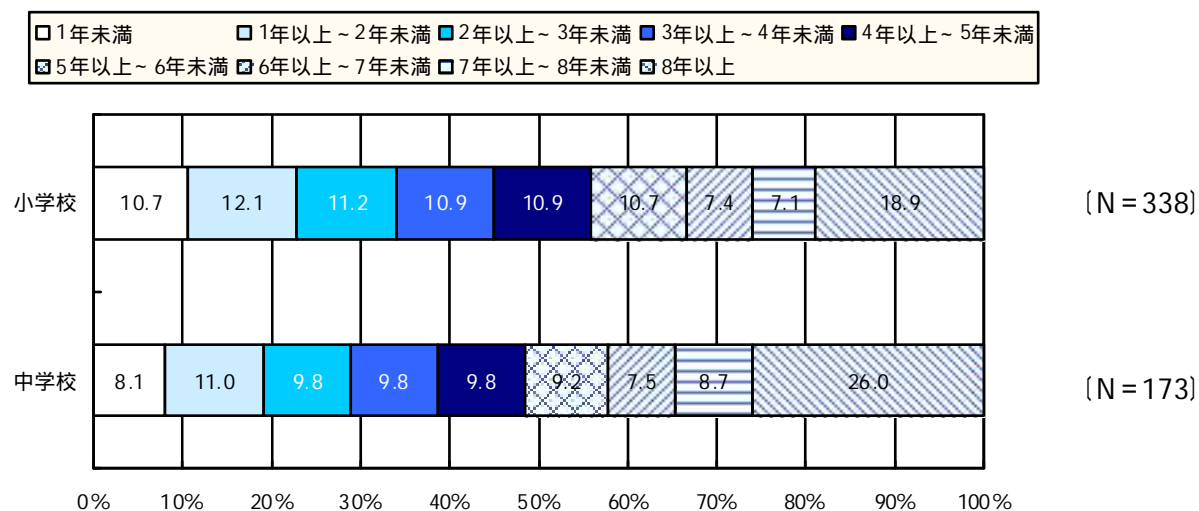
【設問6 - 7】 校長としての経験年数(他校を含む)をお答えください。(1つだけ選ぶ)

図表 2-1 は、校長としての経験年数についての回答結果を示している。

小学校については、「1 年未満」から「8 年以上」までバランスよく回答が散らばっている。その中で、「8 年以上」(18.9%) が 2 割弱と最も多く、「1 年未満」から「5 年以上～6 年未満」までのそれぞれが 1 割程度となっている。

中学校については、小学校の結果と同様、「1 年未満」から「8 年以上」までバランスよく回答が散らばっている。その中で、「8 年以上」(26.0%) が 2 割半ばと最も多く、「1 年未満」から「7 年以上～8 年未満」までのそれぞれが 1 割前後となっている。

図表 2-1. 校長としての経験年数



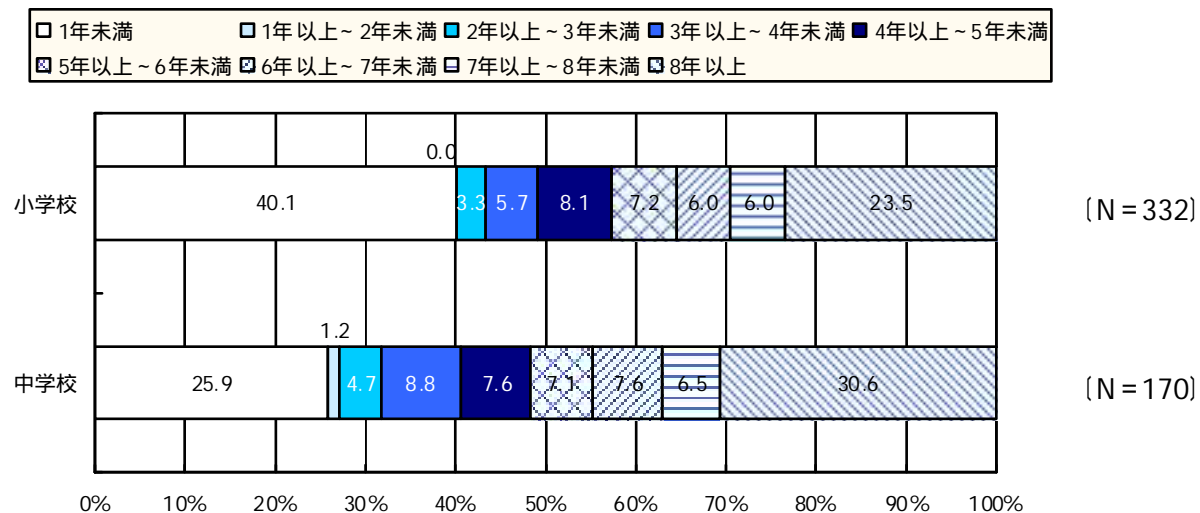
## 【設問6 - 8】 行政での経験年数(通算)をお答えください。(1つだけ選ぶ)

図表 2-2 は、校長の行政での経験年数についての回答結果を示している。

小学校については、「1 年未満」(40.1%)が 4 割と最も多く、続いて「8 年以上」(23.5%)が 2 割強となっている。残りの年数はすべて 1 割未満である。行政経験が 1 年未満(あるいは経験なし)で校長に就任するケースが多いようだ。逆に「8 年以上」の割合も多く、一回行政に携わると長くなるケースも見受けられる。

中学校については、「8 年以上」(30.6%)が 3 割と最も多く、続いて「1 年未満」(25.9%)が 2 割半ばとなっている。残りの年数はすべて 1 割未満である。全体傾向としては小学校と同様であり、行政経験が 1 年未満(あるいは経験なし)で校長に就任している一方、逆に一回行政に携わると長くなるケースが多いようだ。

図表 2-2. 行政での経験年数



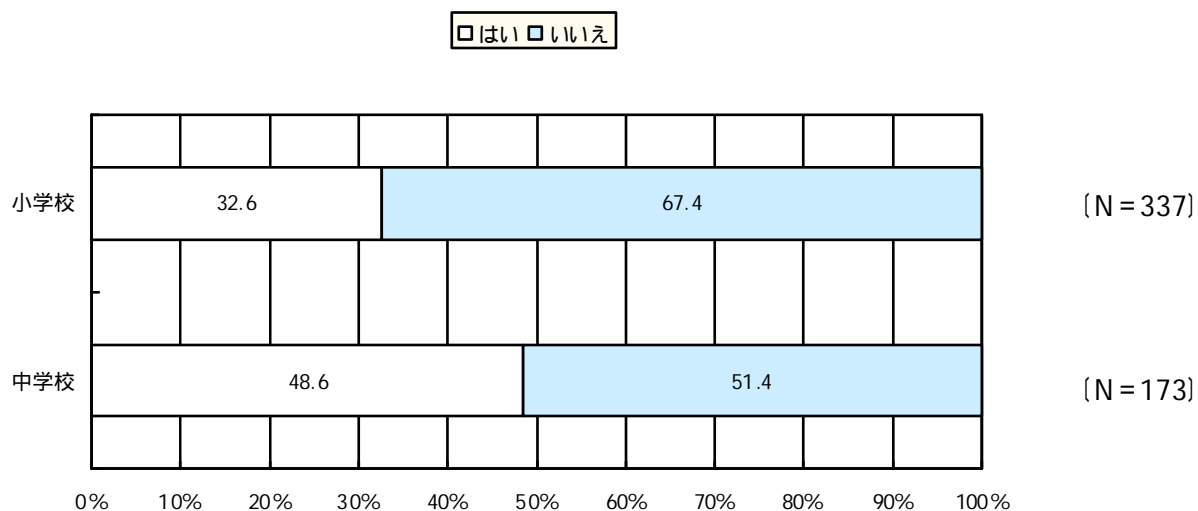
## 【設問6 - 9】 校長会役員(全国、県、郡市)に就いていますか。(1つだけ選ぶ)

図表 2-3 は、校長が校長会の役員になっているかどうかについての回答結果を示している。

小学校については、「いいえ」(67.4%)とする回答が7割強、「はい」(32.6%)とする回答が3割強となっている。

中学校については、「いいえ」(51.4%)と「はい」(48.6%)が約半々となっている。小学校に比べ中学校で「はい」の割合が多いのは、中学校の学校数が小学校に比べ少ないことによるものと考えられる。

図表 2-3. 校長会役員就任



## 3.教頭の属性

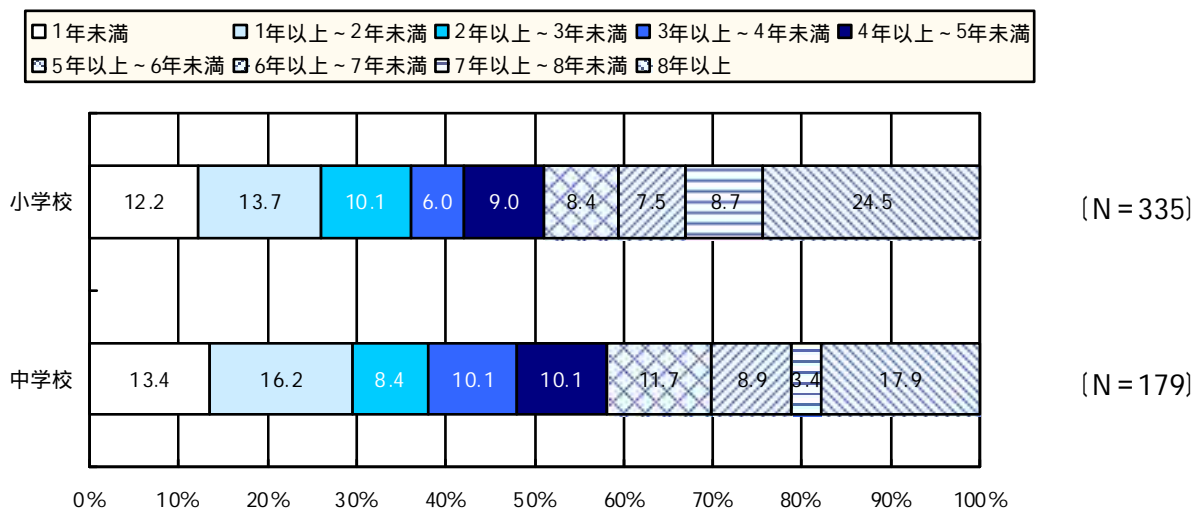
【設問6 - 2】 教頭としての経験年数(他校を含む)をお答えください。(1つだけ選ぶ)

図表 3-1 は、教頭としての経験年数についての回答結果を示している。

小学校については、「1 年未満」から「8 年以上」までバランスよく回答が散らばっている。その中で、「8 年以上」(24.5%)が 2 割半ばと最も多く、続いて「1 年以上～2 年未満」(13.7%)と「1 年未満」(12.2%)が 1 割強、「2 年以上～3 年未満」(10.1%)が 1 割となっている。

中学校については、小学校の結果と同様、「1 年未満」から「8 年以上」までバランスよく回答が散らばっている。その中で、「8 年以上」(17.9%)と「1 年以上～2 年未満」(16.2%)が 1 割半ばとなっており、続いて「3 年以上～4 年未満」(10.1%)、「4 年以上～5 年未満」(10.1%)、「5 年以上～6 年未満」(11.7%)が 1 割程度となっている。

図表 3-1. 教頭としての経験年数



【設問6 - 3】 行政での経験年数(通算)をお答えください。(1つだけ選ぶ)

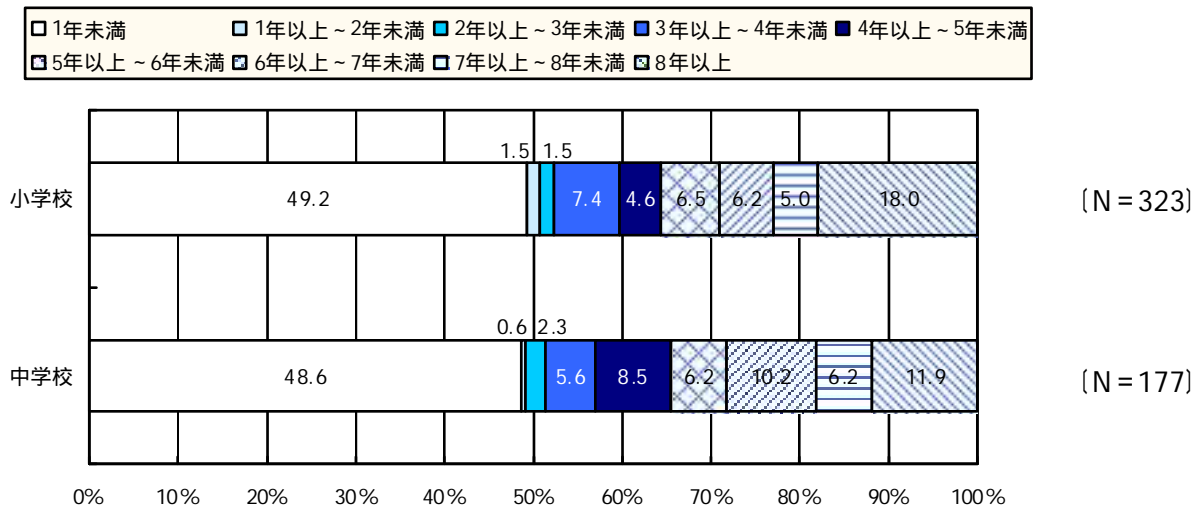
図表 3-2 は、教頭の行政での経験年数についての回答結果を示している。校長とほぼ同じ傾向を示しているが、学校区分によらず、校長に比べ、1年未満が多い傾向がある。

小学校については、「1年未満」(49.2%)が5割と最も多く、続いて「8年以上」(18.0%)が2割弱となっている。残りの年数はすべて1割未満である。行政経験が1年未満(あるいは経験なし)で教頭に就任するケースが多いようだ。逆に「8年以上」の割合も多く、一回行政に携わると長くなるケースも見受けられる。

中学校については、「1年未満」(48.6%)が5割弱と最も多く、続いて「8年以上」(11.9%)と「6年以上～7年未満」(10.2%)と1割程度で並んでいる。他の年数はすべて1割未満である。全体傾向としては小学校と同様であり、行政経験が1年未満(あるいは経験なし)で教頭に就任している一方、逆に一回行政に携わると長くなるケースも多い。

また、校長との比較において、小・中学校とも、1年未満(あるいは経験なし)の割合は、教頭の方が多くなっている。

図表 3-2. 行政での経験年数



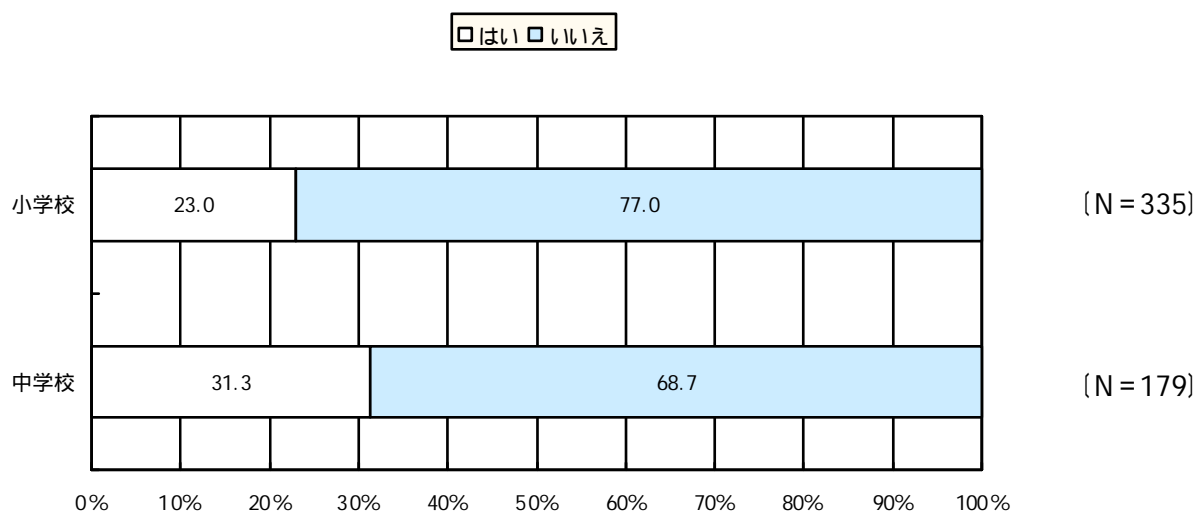
## 【設問6 - 4】 教頭会役員(全国、県、郡市)に就いていますか。(1つだけ選ぶ)

図表 3-3 は、教頭が教頭会の役員になっているかどうかについての回答結果を示している。

小学校については、「いいえ」(77.0%)とする回答が 8 割強、「はい」(23.0%)とする回答が 2 割強となっている。

中学校については、「いいえ」(68.7%)が 7 割強、「はい」(31.3%)が 3 割強となっている。小学校に比べ中学校で「はい」の割合が多いのは、中学校の学校数が小学校に比べ少ないことによるものと考えられる。

図表 3-3. 教頭会役員就任



## 4.教職員の属性

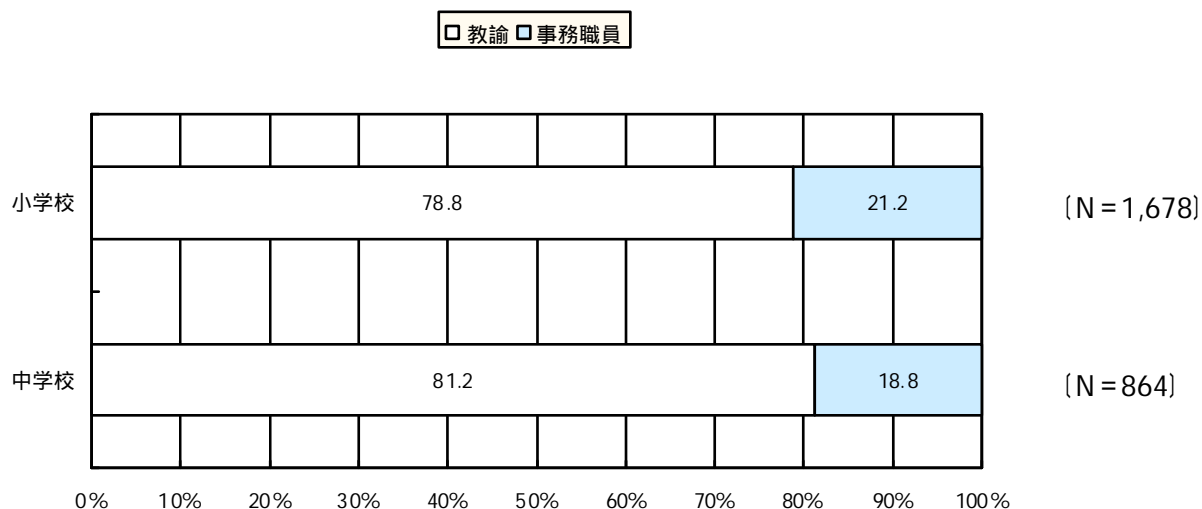
【設問5 - 2】 職種をお答えください。(1つだけ選ぶ)

図表 4-1 は、教職員の職種についての回答結果を示している。

小学校については、「教諭」(78.8%)が8割強、「学校事務」(21.2%)が2割強となっている。教職員の選出にあたっては、選出基準通り、教諭と学校事務の比率は、ほぼ 4:1 となっている。

中学校については、「教諭」(81.2%)が8割強、「学校事務」(18.8%)が2割弱となっている。教職員の選出にあたっては、小学校と同様、選出基準通り、教諭と学校事務の比率は、ほぼ 4:1 となっている。

図表 4-1. 職種



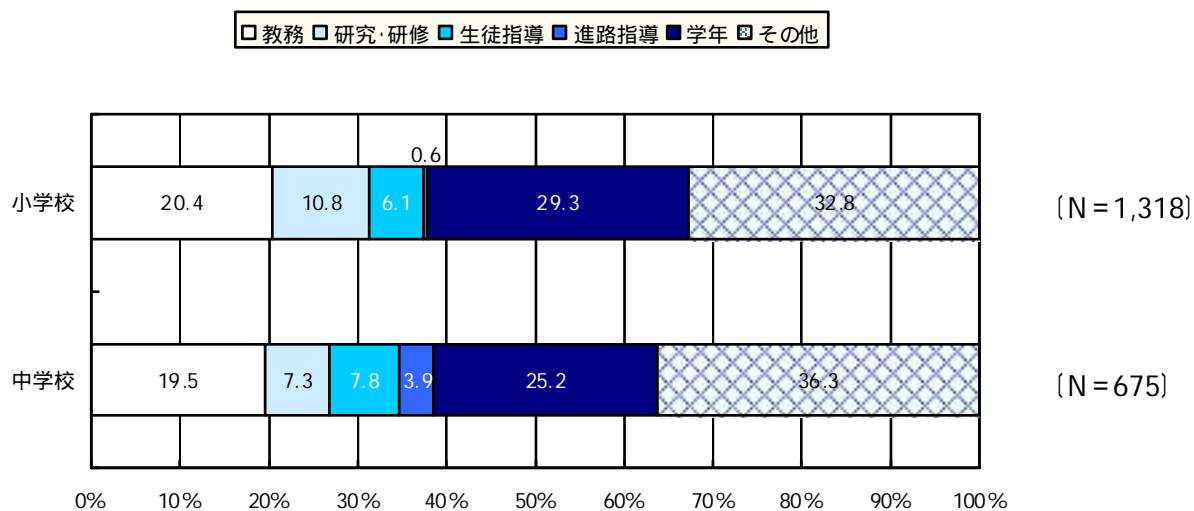
【設問5 - 3】 設問5 - 2で「1.教諭」と回答した方だけにお聞きます。現在何かの主任・主事職に就いていますか。(1つだけ選ぶ)

図表 4-2 は、教諭が就いている主任・主事についての回答結果を示している。

小学校については、「その他」(32.8%)を除いて、「学年」(29.3%)が 3 割弱と多く、続いて「教務」(20.4%)が 2 割、「研究・研修」(10.8%)が 1 割となっている。

中学校については、「その他」(36.3%)を除いて、「学年」(25.2%)が 2 割半ばと多く、続いて「教務」(19.5%)が 2 割弱、「生徒指導」(7.8%)と「研究・研修」(7.3%)が 1 割弱となっている。

図表 4-2. 主事・主任職の就任



## 【設問5 - 4】 年齢をお答えください。(1つだけ選ぶ)

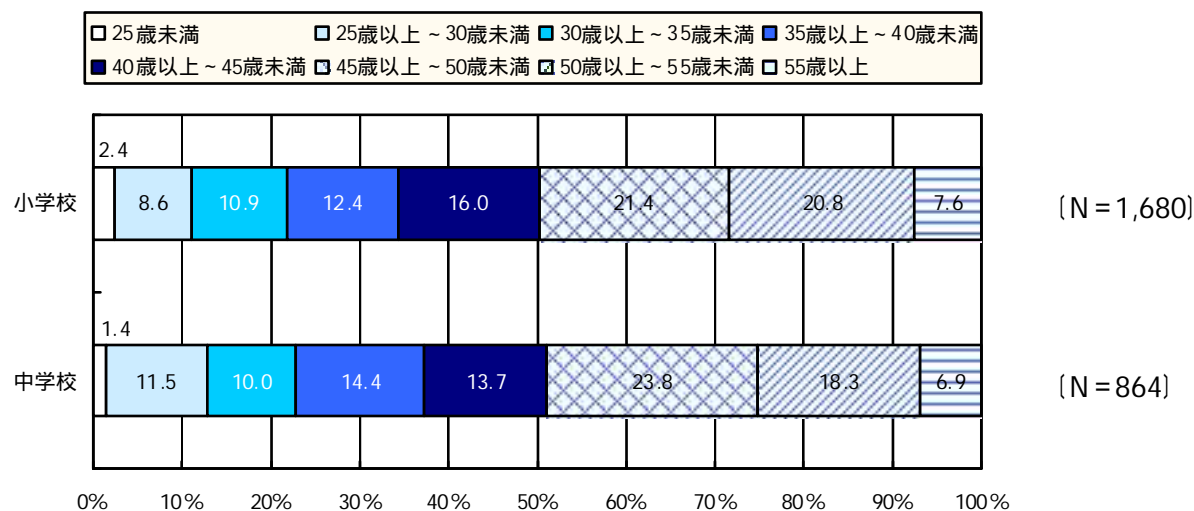
図表 4-3 は、教職員の年齢についての回答結果を示している。

小学校については、「25 歳未満」(2.4%)は少ないが、それ以外の年齢は、バランスよく散らばっている。その中で、「45 歳以上～50 歳未満」(21.4%)と「50 歳以上～55 歳未満」(20.8%)がともに 2 割強となっており、「40 歳以上～45 歳未満」(16.0%)が 1 割半ばで続いている。

中学校については、小学校とほぼ同じ傾向を示している。「25 歳未満」(1.4%)は少ないが、それ以外の年齢は、バランスよく散らばっている。その中で、「45 歳以上～50 歳未満」(23.8%)が 2 割強と最も多く、続いて「50 歳以上～55 歳未満」(18.3%)が 2 割弱、「35 歳以上～40 歳未満」(14.4%)が 1 割半ば、「40 歳以上～45 歳未満」(13.7%)が 1 割強となっている。

なお、教職員の選出にあたっては、選出基準どおり、年齢のバランスが考慮されている。

図表 4-3. 年齢



## 【設問5 - 5】 経験年数(他校も含む)をお答えください。(1つだけ選ぶ)

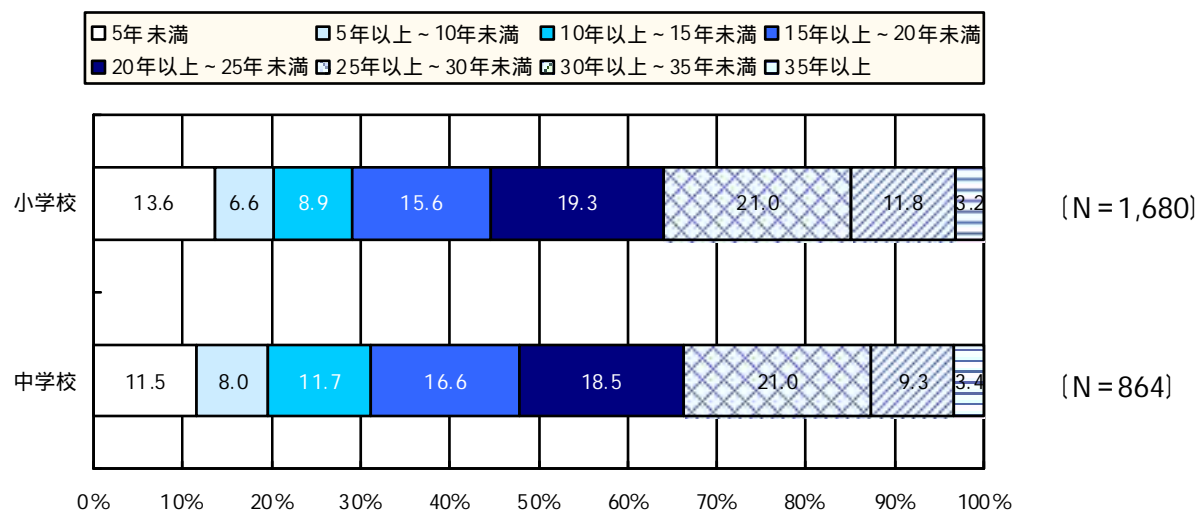
図表 4-4 は、教職員としての経験年数についての回答結果を示している。

小学校については、「35 年以上」(3.2%)となると少なくなるが、それ以外の年数は、バランスよく散らばっている。その中で、「25 年以上～30 年未満」(21.0%)と「20 年以上～25 年未満」(19.3%)がともに 2 割程度と多い。続いて、「15 年以上～20 年未満」(15.6%)、「5 年未満」(13.6%)となっている。

中学校については、小学校とほぼ同じ傾向を示している。「35 年以上」(3.4%)は少ないが、それ以外の年数は、バランスよく散らばっている。その中で、「25 年以上～30 年未満」(21.0%)が 2 割強と最も多く、続いて、「20 年以上～25 年未満」(18.5%)が 2 割弱、「15 年以上～20 年未満」(16.6%)が 1 割半ばとなっている。

なお、教職員の選出にあたっては、選出基準どおり、経験年数のバランスが考慮されている。

図表 4-4. 経験年数



## その他資料について

その他、資料については、別冊になっている。

- 付録 3. 定性調査報告書(別冊 1)

---

(禁無断転載・複写)

---

「群馬県公立小中学校 管理職学校運営調査」報告書  
平成 19 年 3 月

制作・発行 学校法人産業能率大学総合研究所

---